

CURIOUS MINDS

発行: せんだい若者サポートステーション

〒982-0001 仙台市太白区八本松1丁目12-12

TEL: 022-246-9685 FAX: 022-246-9691

Mail: info@saposute.ne.jp

URL: http://www.saposute.ne.jp

平成21年7月 第22号

* せんだい若者サポートステーションは、厚生労働省の「若者自立支援ネットワーク整備事業」です。「社会へ一歩踏み出す」「働く」など、“これから”を一緒に考えていきましょう。

～ “curious minds” の願い ～

“curious”とは、「好奇心のある」の意味。せんだいサポステは、好奇心(＝楽しみを見出す力)を大切に考えています。せんだいサポステに集まる若者も、一人ひとりが素敵な好奇心の持ち主。その好奇心を輝かせ、自分の未来に向かって歩み出していこう、という思いで、この広報紙を“curious minds”(キュリアス・マインズ)と名付けました。

活動のご報告、そして今後のイベントのご案内等を、コンパクトにまとめてお伝えします。

せんだいサポステinformation

コミュニケーション力をつけるには、どうすればいいの…?

⇒そんな時は、とにかく色々なイベントに参加してみましょう!

色々なイベント

せんだいサポステでは「しごと見学」「しごと体験」「先輩に聞こう!」「社会人のたしなみ」ミニセミナー(月曜の4回)「SPORTS DAY」

などのイベントを実施しています。まず興味あるものに是非参加してみましょう。

いずれのイベントも、自己紹介やお互いの感想を発表しあったりなどの交流があります。

「緊張しやすくて…」という方にも入りやすいので、ピッタリです。

もうちょっと深い関わり方をしてみたいなあ…

サロン

これは、まさしく「フリースタイル」でのコミュニケーションを図るための場です。テーマをあえて設けず、参加者同士が自然な流れの中で、思い思いの話題で会話を進めていきます。会話は「キャッチボール」のようなもの。話す人がいても、聞く人がいなければ成立しません。話すのが苦手ならば聞くのに徹するのもし。その辺のバランスも実践できます。昼食はさんでの3時間。サポステメンバー同士の交流がまさに実感できますよ。

決められた枠の中ではなく、もっと自然な形の交流がしたいなあ…

コミュニケーションワーク

言葉に頼らないコミュニケーションや、チーム対抗戦のゲーム形式で交流を図ったりと、毎回違った内容で「人と関わる」経験を積んでいきます。ドキドキわくわくの2時間です。

プロジェクトS

メンバー有志が集まり、イベントの企画・運営を全て自分たちの手で行います。大変さの向こうには大きな達成感が!現在は、第2回のイベント企画に向けて始動し始めたところです。

会話だけでなく、ひとつのことを一緒にする達成感が欲しいなあ…

出前相談会のお知らせ

～8月・9月の予定～

終日(10:00～16:00)、個別相談会を行います。電話でご予約の上、おいで下さい。

(仕事の紹介・斡旋ではありません)

- ◎ 8月11日(火) 大河原合同庁舎
(柴田郡大河原町字南129番1号 TEL 0224-53-3111)
- ◎ 8月25日(火) 仙台保健福祉事務所岩沼支所(塩釜保健所岩沼支所)
(岩沼市中央3丁目1-18 TEL 0223-22-2188)
- ◎ 9月8日(火) 仙台保健福祉事務所塩釜総合支所(塩釜保健所)
(塩竈市北浜4丁目8-15 TEL 022-363-5502)
- ◎ 9月15日(火) 仙台保健福祉事務所黒川支所(塩釜保健所黒川支所)
(黒川郡富谷町ひより台2丁目42-2 TEL 022-358-1111)

<対象となる方>

- ・「仕事をしなきゃとは思っているけれども、何から始めていいかわからない」というご本人
- ・「本人の力になりたいが、どう接すればよいか…」とお考えのご家族の方など

是非足をお運びください

道は必ずあると思います。この出前相談会がそのきっかけになれば、幸いです。

※詳細は、せんだいサポステ(022-246-9685)までご連絡を頂くか、ホームページ(http://www.saposute.ne.jp)をご覧ください

バックナンバーはホームページで

“curious minds”のバックナンバーが、せんだい若者サポートステーションのホームページからダウンロードできます。もちろん、最新号もその都度アップしていきます。是非とも、ホームページ版もご活用ください。

せんだい若者サポートステーションURLは、http://www.saposute.ne.jp

社会人のたしなみって何だろう？

今回はせんだいサポステを利用されている皆様に、ビジネスマナー基礎講座『社会人のたしなみ』をなぜ行っているのかについて、スタッフの藤森がお伝えします。

ちょっと遠回りかもしれませんが、最初に『せんだいサポステ』が開所したころの私（藤森）についてお話ししたいと思います。

開所した当時、私たちのメインの仕事は、多くの人にサポステの存在を知ってもらうことでした。そのため、サポステができたということを行行政や企業といった関係機関の方に伝えるため、あちこち出かけて挨拶する必要がありました。

これが当時の私にとってはとても辛い仕事でした。



いままでまったく馴染みのない場所へ行き、知らない人に会うのが苦痛で仕方ありませんでした。とりわけスーツを着た人に会うとガチガチになっていました。

なんせ前職は福祉職で、基本的に外へ出かけていくことがなく・・・ひとこと言えば社会人としての経験が足りず、怖気づいていたんですよね。

だから先方へ挨拶に出かけたとき、きっちりしたスーツの人が美しい動作で私に名刺を差し出し、NHKのような正しい言葉づかいで話かけてきたりすると、もうそれだけで逃げ出したい気持ちになっていました。

相手が私に礼を尽くしてくれているのに、私の方は相手にどう礼をつくせばいいのかわからないって、とても恥ずかしくて申し訳ないことだと痛感しました。

そんな思いから、あわててビジネスマナーの本を買って読むようになりました。また、先輩方の所作もしっかり観察するようになりました。学んだことを踏まえながら、他組織の人に会い、その人からまた学ぶ…その繰り返しでした。

少しずつ相手への失礼が減ると同時に、心に余裕が生まれてきました。伝えるべきことをきちんと伝えられるのってとても気持ちいいことですよね。精一杯感謝の気持ちを伝えあうのってとても素敵なことです。

様々な方にお会いするうちに気付いたのは、みんながみんな教科書通りのビジネスマナーを実践しているわけではないということです。人はそれぞれ相手への礼の尽くし方を持っていて、それを実践することこそが『社会人のたしなみ』なのだ気付きました。

そうした思いが、いまのせんだいサポステビジネスマナー基礎講座『社会人のたしなみ』に生きています。

実は『社会人のたしなみ』のテーマは私が作っています。私の過去の苦い体験や、自分が働く上で憶えてきたこと、憶えて役に立ったことを中心にお伝えしています。

なにか少しでも皆さんの役に立てばとは思っていますが、別にビジネスマナーを完璧に覚えてもらいたくは行っているわけではありません。私だって完璧にはまだまだ程遠いです。

ビジネスマナーとは『働く上での他者への礼の尽くし方』であり、それはその人その人で違っていいですし、正解もありません。ですが、その基礎を知っていることで、より自分らしくビジネスマナーを学ぶことができると私は考えているのです。

これからも私たちは『社会人のたしなみ』でそうした基礎をお伝えしていきます。

どうか一度顔を出してみてください。お待ちしております。



せんだいサポステDATA ~登録者の属性や利用状況について~

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	合計	%
登録者数	124	110	29	263	100.0%
男性	97	81	17	195	74.1%
女性	27	29	12	68	25.9%
相談件数	730	1,426	394	2,550	
休外参加者数	770	1,280	417	2,467	
進路決定者数	25	56	8	89	100.0%
正規雇用	6	10	0	16	18.0%
非正規雇用	16	37	8	61	68.5%
職業訓練	2	8	0	10	11.2%
進学およびその他	1	1	0	2	2.2%

*4月1日～7月15日

＜登録者の年齢＞

